

平成30年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会のご案内

公益社団法人 日本栄養士会

〒105-0004

東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階

TEL03-5425-6555 FAX03-5425-6554

<https://www.dietitian.or.jp/>

* 日本栄養士会ホームページ おしらせ よりログインしてください。

平成30年度 公益社団法人日本栄養士会 定時総会 開催通知

平成30年6月1日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会会長 小松龍史

日 時 平成30年6月24日(日) 13:00～17:00

6月25日(月) 9:00～12:00

場 所 東京ビッグサイト 会議棟1階 レセプションホールA

東京都江東区有明3-11-1 TEL03-5530-1111

構成員 代議員

総会議題

第1号議案 平成29年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 役員報酬承認の件

第4号議案 名誉会員承認の件

日 程

第1日 6月24日(日)

12:00～13:00 受 付

13:00～13:20 開会

会長挨拶

議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・会議運営委員指名

総会成立宣言

13:20～15:00 第2号議案 (理事立候補者の抱負・選任決議)

15:00～15:50 第1号議案 (提案説明)

15:50～16:00 第3号議案 (提案説明・討論・採決)

16:00～16:10 第4号議案 (提案説明・討論・採決)

16:10～16:55 協議事項 平成30年度事業執行計画、予算について(提案説明)

16:55～17:00 第2号議案 (選任決議報告)

18:00～20:00 情報交換会(東京ベイ有明ワシントンホテル)

第2日 6月25日(月)

8:30～9:00 受 付

9:00～9:20 総会式典

9:20～10:00 第1号議案 平成29年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件(討論・採決)

10:00 ～ 11:00 協議事項 平成30年度事業執行計画、予算について(討論)
11:00 ～ 11:50 協議事項 管理栄養士・栄養士の将来像の実現について(提案・討論)
12:00 閉 会

【注意事項】

1. 上記議案の内容は「総会資料」(ホームページ会員限定ページに掲載します。代議員の方へは、別途郵送します。)をご覧ください。出欠につきましては、次によりご手配ください。
 - (1) 出席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出てください。
 - (2) 欠席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出るとともに、必ず「委任状」を提出してください。「書面表決」の場合には、平成30年6月22日(金)午後5時45分までに本会に提出をお願いします。
 - (3) 都道府県栄養士会長は、所属代議員の出欠〔①総会、②情報交換会〕を確認し、6月11日(月)までに日本栄養士会長に指定の様式にて届け出てください。
 - (4) 代議員以外の出席を希望する会員は、①所属都道府県栄養士会名、②会員番号、③氏名、④出欠〔1) 総会、2) 情報交換会〕を記入し、6月11日(月)までに日本栄養士会あてにファクシミリ(FAX 03-5425-6554)にて申し出てください。
2. 総会出席者は、定刻までに会場に到着し、受付を済ませて、総会会場にご参集ください。

【情報交換会】

日 時 平成30年6月24日(日) 18:00 ～ 20:00
場 所 東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」
東京都江東区有明3-7-11
参加費 7,000円(当日徴収)

平成30年度 公益社団法人日本栄養士会 賛助会員会総会 開催のご案内

平成30年6月1日

賛助会員会会員各位

日 時 平成30年6月25日(月) 15:30 ～ 16:30
場 所 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室609
東京都江東区有明3-11-1 TEL03-5530-1111
内 容 報告・説明
①日本栄養士会の活動について
議題
①賛助会員会平成29年度事業報告について
②賛助会員会平成30年度事業計画案について
③賛助会員会役員改選について
その他
①日本栄養士会への要望
②その他

※ 平成30年度公益社団法人日本栄養士会定時総会ならびに情報交換会へも、是非、ご出席ください。
参加申し込み方法などの詳細は、直接ご案内します。

平成30・31年度 公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

平成30年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 深谷 静香

平成30年4月2日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

平成30年4月25日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第17条第1項に基づき告示します。

1. 一般理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	塚田 定信	大阪府	医療	
2	柵木 嘉和	愛知県	学校健康教育	
3	松村 晃子	徳島県	医療	
4	神戸 絹代	静岡県	研究教育	
5	迫 和子	神奈川県	公衆衛生	
6	鈴木 志保子	神奈川県	研究教育	
7	下浦 佳之	兵庫県	地域活動	
8	岡本 智子	宮城県	医療	
9	渡邊 潤	静岡県	医療	
10	木戸 康博	石川県	研究教育	
11	中村 丁次	神奈川県	研究教育	
12	石川 祐一	茨城県	医療	
13	渡辺 啓子	福岡県	医療	
14	寺本 房子	岡山県	研究教育	
15	西村 一弘	東京都	医療	
16	田中 弥生	神奈川県	研究教育	
17	外川 泉	山梨県	公衆衛生	
18	中川 幸恵	北海道	医療	

2. 職域理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	阿部 絹子	群馬県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり
2	斎藤 トシ子	新潟県	研究教育	研究教育から推薦あり
3	原 純也	東京都	医療	医療から推薦あり
4	加藤 すみ子	福島県	福祉	福祉から推薦あり
5	中田 智子	栃木県	学校健康教育	学校健康教育から推薦あり
6	海老原 昌子	千葉県	地域活動	地域活動から推薦あり
7	國分 葉子	東京都	勤労者支援	勤労者支援から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

平成30年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 深谷 静香

公益社団法人日本栄養士会定款第21条第1項、第3項および役員選任総会決議にかかる手続規程第6条から第19条までにに基づき、総会会場にて理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

1. 一般理事選任決議分野候補者 18名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
2. 職域理事選任決議分野候補者 7名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

=====選 挙 公 報=====

- ◆各候補者から届出のあった事項を公報します。
(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

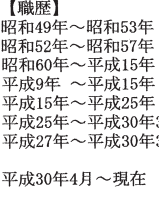
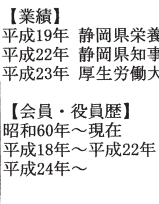
1. 一般理事選任決議分野候補者

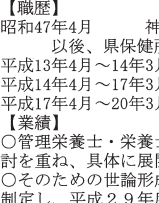
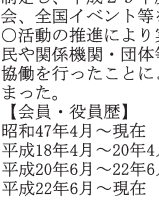
◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	つかだ さだのぶ	性別	男・女
		氏名	塚田 定信				
		勤務先	名称 大阪市立大学医学部附属病院 〒 545 - 8586 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5-7 TEL. 06-6645-2870				
		所属都府県 栄養士会	大阪府 栄養士会	会員番号	0 2 7 0 0 2 0 4	所属職域	医療(病院)
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和55年4月～ 大阪市立大学医学部附属病院奉職 平成13年4月～ 同 主査 平成19年4月～ 同 保健副主幹 平成24年4月～ 同 保健主幹 現在に至る 【業績】 昭和60年4月から、入院患者食事管理業務のコンピュータによるシステム化を推進 平成6年2月 入院患者食事管理業務の改善提案について大阪市長表彰 【会員・役員歴】 日本栄養士会 昭和55年4月～ 大阪府栄養士会 入会 平成16年6月～ 大阪府栄養士会病院部会強化委員 平成18年6月～ 大阪府栄養士会 理事 平成28年6月～ 日本栄養士会 理事 その他 平成 7年5月～ 日本糖尿病学会 会員 平成15年3月～ 日本臨床栄養協会 評議員 平成23年2月～ 日本臨床栄養協会 理事 平成27年7月～ 日本病態栄養学会 代議員 平成28年1月～ 日本病態栄養学会 評議員						
	私は、大学病院の管理栄養士として38年間業務に従事しており、病院で働く管理栄養士に向けられている期待が何なのかを常に考えながら動いてまいりました。近年ではチーム医療の推進が大きな流れであったと思いますが、加えて医療の地域連携も加速度的に進んでおり、病院と地域、在宅の連携についてもケアステーション事業を整備、推進していく所存です。 また、前任期では、管理栄養士、栄養士の将来像を念頭に業務規範の策定業務やより専門性を目指す管理栄養士、栄養士の人材育成にも関わらせていただき、その重要性を強く感じました。 今回の立候補においては、次の点において取り組む所存です。 1. 未来を担う管理栄養士、栄養士の社会環境づくりや、資質の向上に取り組めます。 2. 地域医療・在宅における管理栄養士・栄養士の役割を明確にするとともに、病院での栄養管理と在宅での栄養管理を円滑に進める仕組みづくりに取り組めます。 3. 日本栄養士会が目指す管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向け、会員とのパイプ役として努力いたします。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	ませぎ よしかず	性別	男・女	
		氏名	柵木 嘉和					
		名称	名古屋文理大学短期大学部					
		勤務先	〒 451-0077 名古屋市区笹塚町2丁目1番地 TEL 052-521-2251					
		所属都道府県 栄養士会	愛知 栄養士会	会員 番号	0 2 3 0 0 0 4 0	所属職域	学校健康教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和50年～平成6年 一宮市公立学校栄養職員 主査 平成6年～平成20年 一宮市公立学校栄養職員 主査 平成20年～平成27年 一宮市立木曽川中学校栄養教諭 平成27年～現在 名古屋文理大学短期大学部 准教授 【業績】 平成24年 愛知県知事表彰 【会員・役員歴】 昭和50年～ 栄養士会入会 平成10年～平成18年 愛知県栄養士会 理事 学校健康部会長 平成12年～平成14年 愛知県栄養士会 総務部長 平成14年～平成18年 愛知県栄養士会 事業部長 平成18年～平成20年 日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士協議会 幹事 平成20年～平成28 日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士協議会協議会長 平成20年～ 日本栄養士会 理事 平成28年～ 日本栄養士会 常任理事 平成28年～ 愛知県栄養士会 会長						
		日本栄養士会の理事として、10年の経験を活かし、栄養士会としてやらなければならないことの実現と管理栄養士・栄養士の社会的地位の向上に努めていきます。 ○財政運営の健全化に向けて ・事業の見直し・事業評価法の確立、事業の優先順位、支出の削減 ・会員増に向けて・平成29年度は減ではなく微増いたしました。引き続き会員増に向けた対策の強化 ○今やらなければならない重要課題 ・将来構想の実現 ・栄養ケアステーション事業の推進 ・管理栄養士・栄養士の活動の場の拡大 ・栄養士の「見えるか」、管理栄養士・栄養士の「見えるか」の実現 ・管理栄養士・栄養士のスキルの向上プラス実践（行動）に結びつける研修 県栄養士の役員として、運営に関わっている立場を活かし、日本栄養士会と都道府県栄養士会の連携強化に努め、双方の充実発展に努めていきます。 よろしくお願いいたします。						
		立候補の抱負						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	まつむら あきこ	性別	男・女	
		氏名	松村 晃子					
		名称	徳島大学病院					
		勤務先	〒 770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1 TEL088-633-9202					
		所属都道府県 栄養士会	徳島県 栄養士会	会員 番号	0 3 6 0 0 1 2 1	所属職域	医療	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 ・昭和56年4月 徳島大学病院医学部附属病院 医事課調理係 ・平成6年4月 同 栄養管理室 主任 ・平成16年4月 同 栄養管理室 副室長 ・平成21年4月 同 栄養管理室 室長 ・平成23年10月 徳島大学病院 栄養部 副栄養部長 【業績】 ・平成13年5月 日本栄養士会会長表彰 ・平成14年11月 日本栄養改善学会 評議員 ・平成16年1月 日本病態栄養学会 評議員 ・平成16年5月 徳島県栄養士会会長表彰 ・平成28年10月 徳島県集団施設協議会優良従事者表彰 ・平成29年10月 日本病態栄養学会 がん病態専門管理栄養士委員 【会員・役員歴】 ・昭和56年4月 日本栄養士会入会 徳島県栄養士会入会 (徳島県栄養士会役員歴) ・平成14年度～17年度 生涯学習担当 ・平成18年度～19年度 病院栄養士協議会 理事 ・平成20年度～21年度 病院栄養士協議会 副会長 ・平成22年度～23年度 栄養士会理事 病院栄養士協議会 副会長 ・平成24年度～ 医療栄養士協議会 代表						
		私は、これまで37年間国立大学病院栄養士業務に従事してきました。就職当時の栄養士・管理栄養士の業務は主に厨房を中心とした給食管理業務でした。その後、業務のシステム化が進み、アウトソーシングの時代の波で患者食業務が委託へと向かう中、管理栄養士・栄養士の業務内容は給食管理から栄養食事指導、栄養管理業務へと展開していきました。H14年頃から全国的に栄養サポートチーム活動が始まり、H18年度の診療報酬改定では栄養管理実施加算の新設で、管理栄養士の業務に初めて診療報酬点数が付与され、チーム医療の一翼を担う職種としての役割が大きくなってきました。さらに教育・研究面においても看護師、薬剤師と肩を並べられるよう生涯教育制度の充実が求められています。今後は高齢化が進む中、2025年の超高齢化社会への対応として、栄養管理は大変重要な課題であり、厚労省の目指す地域包括ケアシステムの構築には私たち管理栄養士、栄養士が職域を超えて連携していかなければならない時代となりました。 私自身は日本栄養士会および県栄養士会の会員として長くお世話になっており、徳島県では行政や研究教育および学校等の会員の方々にも多大なご協力をいただいております。平成14年からは、生涯学習担当、理事を経て現在は医療栄養士協議会の代表を務めておりますが、地区での活動においても情報共有や連携の重要性を実感しています。これからは医療だけでなく、施設、地域との連携を踏まえ、さらに広い視野をもって、日本栄養士会の活動に貢献できればと思い、理事に立候補させていただきます。これまでの経験とネットワークを生かして微力ながら日本栄養士会活動と管理栄養士、栄養士の地位向上に尽力できればと考えています。						
		立候補の抱負						

告示第3号

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	かんべ きぬよ	性別	男 ☐ 女 ☒	
		氏名	神戸 絹代					
		勤務先	名称 東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科 〒 468-8514 愛知県名古屋市中平区中平2-901 TEL052-801-6442					
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員 番号	0 2 2 0 0 8 7 5	所属職域	研究教育	
職歴		【職歴】 昭和49年～昭和53年 日本大学短期大学部実習助手 昭和52年～昭和57年 共立病院外来栄養指導担当 昭和60年～平成15年 病院管理栄養士 平成9年～平成15年 日本大学短期大学部非常勤講師 平成15年～平成25年 日本大学短期大学部准教授 平成25年～平成30年3月 日本大学短期大学部教授 平成27年～平成30年3月 日本大学短期大学部教授・食物栄養学科学科長 平成30年4月～現在 東海学園大学健康栄養学部教授						
		平成24年度から3期、日本栄養士会の理事として、主に人材育成事業部の担当として、生涯教育と特定保健指導研修を担ってきました。生涯教育制度の基本的な考え方にあるように、管理栄養士・栄養士が科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために常にスキル向上が図れる研修制度と環境づくりに取り組み、国民から必要とされる栄養士・管理栄養士の質の向上ができるように尽力していきます。その成果としては、平成28年度と29年度に認定管理栄養士が誕生しましたが、受験率はまだまだ低く、目標値を達成できるように更なる努力をして所存です。また、地域代表として、各都道府県の会員の要望を吸い上げ、日本栄養士会に提案して、要望が実現できる努力してきました。今回も東海・北陸地区栄養士会の各県会長の推薦を受けましたので、この6年間の経験を活かして各都道府県と日本栄養士会の連携をとり、会員の声を反映できるようパイプ役を担っていきます。						
業績		【業績】 平成19年 静岡県栄養士会表彰（栄養改善事業功労） ・平成22年 静岡県知事表彰（栄養指導業務功労） 平成23年 厚生労働大臣表彰（栄養指導業務功労）						
会員・役員歴		【会員・役員歴】 昭和60年～現在 日本栄養士会会員 ・平成18年～平成22年 静岡県栄養士会理事 平成24年～ 日本栄養士会理事						

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	さこ かずこ	性別	男 ☐ 女 ☒	
		氏名	迫 和子					
		勤務先	名称 (公社) 日本栄養士会 〒 105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階 TEL 03-5425-6555					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 8 1 3	所属職域	公衆衛生	
職歴		【職歴】 昭和47年4月 神奈川県足柄上保健所入職 以後、県保健所、保健福祉事務所に勤務 平成13年4月～14年3月 衛生部生活衛生課 平成14年4月～17年3月 同部地域保健課 平成17年4月～20年3月 秦野保健福祉事務所						
		【業績】 ○管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向けて検討を重ね、具体に展開した。 ○そのための世論形成の一助として「栄養の日」を制定し、平成29年度には第1回記念式典並びに大会、全国イベント等を開催した。 ○活動の推進により実体形成を進めるとともに、国民や関係機関・団体等に対して積極的に意見表明、協働を行ったことにより、本会の社会的評価が高まった。						
業績		【会員・役員歴】 昭和47年4月～現在 日本栄養士会会員 ・平成18年4月～20年4月 行政協議会長・担当理事 平成20年6月～22年6月 常務理事 平成22年6月～現在 専務理事						
会員・役員歴		本会に対して社会の大きい関心と期待が寄せられていることから、専務理事として以下の活動に取り組んでいます。 ○専門職業人としての倫理のもとに会員の資質向上を図り、質の高いサービスを国民に提供していくための活動を推進します。 ○「栄養の日」の社会的認知を高めるとともに、その活動を通じて低栄養・過栄養対策を推進します。 ○超高齢社会を迎え在宅療養が喫緊の課題となっている中で、地域ケア会議への参画等、栄養支援体制の整備に重点的かつ戦略的に取り組みます。 ○栄養士法の改正に向けて様々な課題等を整理するとともに、国や関係機関・団体等との連携・調整を推進します。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 6	ふりがな 氏 名	すずき しほこ 鈴木 志保子	性別	男・ ☒ 女	
		勤務先	名称 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 〒238-8522 神奈川県横浜須賀野市平成町1丁目10番1 TEL 046-828-2658					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 5 3 5 0	所属職域	研究教育	
		【職歴】 平成12年4月～平成15年3月 国立鹿屋体育大学助教授 平成15年4月～平成21年3月 神奈川県立保健福祉大学 助教授（平成19年4月より准教授、大学院兼務） 平成21年4月～現在 神奈川県立保健福祉大学（大学 院兼務）教授（30年4月より 公立大学法人） 【業績】 平成21年7月～平成25年12月 NPO法人 日本スポーツ 栄養研究会 会長 平成25年12月～平成27年7月 NPO法人 日本スポーツ 栄養学会 会長 平成21年9月 NPO法人 日本栄養改善学会 学会賞受賞 平成24年10月～平成25年3月 厚生労働省「運動基 準・運動指針の改定に関する検討会」構成委員 平成26年9月～平成27年3月 「平成26年度管理栄養士 国家試験出題基準（ガイドライン）改定検討会」構 成委員 平成27年7月～現在 公益財団法人 日本体育協会 ス ポーツ医・科学専門委員会委員 平成28年7月～平成29年3月 文部科学省「これからの 養護教諭・栄養教諭の在り方に関する検討会議」委員 平成29年3月～平成30年3月 公益財団法人 東京オリ ンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「飲 食戦略検討会議」委員 平成29年12月～現在「食に関する指導の手引」改訂 に係る協力者会議委員 【会員・役員歴】 平成16年～現在 日本栄養士会会員 平成26年～現在 日本栄養士会 理事 平成28年～平成30年4月 日本栄養士会 情報コミュ ニケーション事業部副部長 平成30年4月～現在 日本栄養士会 常任理事 平成30年4月～現在 日本栄養士会 情報コミュニケー ション事業部部長	立 候 補 の 抱 負	理事となり4年目が終わろうとしています。2期目 の2年間は、主に情報コミュニケーション事業部の 副部長（現 部長）としての活動と2020年東京オリ ンピック・パラリンピックに向けての活動を行いま した。 平成28年度より始めた「未来のトップアスリート のための体感型スポーツ栄養セミナー」では、公認 スポーツ栄養士、都道府県栄養士会、賛助会員の皆 様にご協力をいただきながら4年間で47都道府県で 開催するという目標の折り返し地点となりました。 2年間で約3400名にご参加いただき、スポーツ栄養 から管理栄養士・栄養士の仕事やその価値について 国民への理解を深めるという目的を賛助点ではあり ますが達成できていると考えます。 また、情報コミュニケーション事業部が中心と なって実施した栄養の日・週間、日本栄養士会雑誌 やHPのリニューアルと新規立ち上げ、全国栄養士大 会等は、管理栄養士・栄養士が主体的に活躍する場 や社会にアピールする機会を増やすことができた と考えます。今後は、事業の質を高め、より高い成果 をあげられるように活動します。 この2年間、管理栄養士・栄養士が社会から求め られていることやイメージがより鮮明に見えてきま した。「いい仕事（優れた働き）をすること」と 「高い評価を得ること」はイコールではなく、優れた 働きをしてその結果をわかりやすく華やかに表現 しなければ高い評価を得ることができないとわかり ました。これからの管理栄養士・栄養士は、社会で 高い評価を得るための「技」を習得する必要がある と思います。日本栄養士会は、専門職としての高度 な知識や技術だけではなく、社会に必要とされる評 価を得るための方法や活動についても支援をすべ きだと考えます。 平成30年度から2年間、理事としてのチャンスを いただきたく、よろしく願います。				

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 7	ふりがな 氏 名	しもうら よしゆき 下浦 佳之	性別	☒ 男・女	
		勤務先	名称 公益社団法人 日本栄養士会 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目13番5号 新橋MCビル6階 TEL 03-5425-6555					
		所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職域	地域活動	
		【職歴】 S56年 兵庫県立光風病院 給食課 H02年 兵庫県立尼崎病院 給食課 主任 H06年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 主 査 H12年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 H20年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 H21年 兵庫県立加古川医療センター 同 H24年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 H28年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同役職 H29年6月30日附 兵庫県職員退職 【会員・役員歴】 会員歴：S56年～現在（37年） 日本栄養士会役員歴： 日本栄養士会理事（理事6期目H18～現在） 常務理事（H26～現在）H29.7より常勤 栄養77・ステーション推進・事業部長（H22～H25） 学術情報部長（H20～H21） 生涯学習検討会委員長（H18～H19） 兵庫県栄養士会役員歴： 兵庫県栄養士会 副会長（H24～現在） 栄養77・ステーション委員長・生涯学習委員長他・兵庫県 小児保健協会理事 【講師等】神戸学院大学客員教授	立 候 補 の 抱 負	我が国では、かつてない少子高齢化が急激に進行 しており、特に後期高齢者の加齢に伴う虚弱な状態 であるフレイルや生活習慣病の重症化予防等への取 組み、また、少子化においても、若い女性の低栄 養から派生する課題として、妊娠・出産や子育ての 環境の悪化が懸念され、健康な次世代を育むための 取り組み等が必要です。 そのために、管理栄養士・栄養士の職能団体であ る日本栄養士会として、今何ができるのか、何をし なければならないのかの方向性を明確に示し、会員 の皆様とアジェンダを共有し、国民に対して、食と 栄養の専門職としての役割を果たす必要があると思 います。 今回の理事立候補に当たり、 ①法改正の推進に向けて、将来構想（ビジョン） の具現化と組織体制等の強化 ②地域包括ケア等における管理栄養士・栄養士の アクセス&アウトリーチの拡充と多(他)職種との連 携強化 ③「栄養の指導」をもって国民の健康に寄り添 い、関連する課題やニーズに適切に対応し、専門職 として任務を果たすとともに、管理栄養士・栄養士 の社会的認知を高めること 以上の3つを重点課題として様々な事業に取組むと ともに、これまでの事業の見直し等を実施し、適切 な会務の運営に努めます。 また、常務理事としての職務についても責務を果 たす所存です。				

告示第3号

◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 8	ふりがな	おかもとともこ	性別	男 ・ 女
		氏名	岡本智子				
		勤務先	名称 東北大学病院 栄養管理室 〒 980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL 022-717-7119				
		所属都道府県 栄養士会	宮城 栄養士会	会員番号	0 0 4 0 1 9 0 6	所属職域	医療
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和57年4月 医療法人同済病院（老人・特養老人ホーム 併設）（昭和58年3月まで） 昭和58年4月 宮城県立成人病センター（現在宮城県立がんセンター） 昭和60年4月 国立宮城工業高等専門学校 学生課（平成11年3月まで） 平成11年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 平成14年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 副室長 （平成19年医学法上の名称を東北大学医学部附属病院より東北大学病院と名称変更となる） ・平成19年4月 東北大学病院 栄養管理室 室長 診療技術部 栄養管理部門 部門長 平成24年4月 栄養サポートセンター副センター長（栄養サポートセンターディレクター兼務） 平成25年4月 東北大学病院 診療技術部 副部長 ・栄養管理部門 部門長 栄養管理室 室長 栄養サポートセンター副センター長（現在に至る） 【業績】 学術評議員（日本病態栄養学会・日本静脈経長栄養学会・日本摂食嚥下リハビリテーション学会・日本肥満症治療学会） 平成19年宮城県栄養士会会長表彰 平成30年仙台市保健所食育推進表彰 【会員・役員歴】 平成6年から会員 平成28年から宮城県栄養士会理事		私は大学病院勤務において、大規模病院における栄養管理体制構築し、近年重要度が増している「治療の一環としての栄養管理」を実践してきました。こうした経験を通し、これからは管理栄養士・栄養士の個々のスキルアップだけでなく、得た知識やスキルを使いこなすための体制作りなど、実践的な教育システムが必要であると感じております。管理栄養士・栄養士がその専門性を十分に活かしてそれぞれの分野で活躍できるよう、精一杯尽くしてまいります。				
	立候補の抱負						

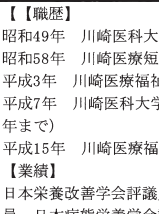
◎ 一般理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 9	ふりがな	わたなべ じゅん	性別	男 ・ 女
		氏名	渡邊 潤				
		勤務先	名称 浜松医科大学医学部附属病院 〒 431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1 TEL053-435-2612				
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員番号	0 2 2 0 1 7 0 9	所属職域	医療
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和60年6月～現在 浜松医科大学医学部附属病院 医事課給食係（現 栄養部） 【業績】 平成25年 静岡県栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 会員歴 平成4年4月～現在 役員歴 静岡県栄養士会（委員）平成24年～現在 ・県西部地区研修会 ・災害時食支援（静栄-DAT） ・医療事業部 日本栄養士会（委員）平成26年～現在 ・管理栄養士分野別人材育成事業（CKD領域）		これまで、県栄養士会の各種委員を務めさせていただいたこと、また、日本栄養士会では腎臓病病態栄養専門管理栄養士認定制度の立ち上げに関わらせていただいたことにより、専門職種である栄養士・管理栄養士として更に社会的認知・評価を高めるためには、職能団体である栄養士会の役割が重要であることを実感しました。 平成28年度に続いて平成30年度の診療報酬改定においても、栄養士・管理栄養士に対する評価が高まっていることがうかがわれますが、一方で入院時食事療養費の据え置きをはじめ課題も残されています。これらの課題に対して日本栄養士会として何ができるかなどを模索し実行するなど、更なる評価向上のために尽力したいと思います。				
	立候補の抱負						

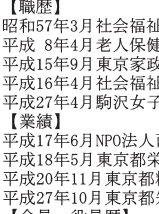
◎ 一般 理事 選任 決議 分 野 候補 者		届出番号	※ 10	ふりがな 氏 名	きど やすひろ 木戸 康博	性 別	男・女
		勤務先	名称 金沢学院大学人間健康学部健康栄養学科 〒 920-1392 石川県金沢市末町10 TEL 076-229-8782				
		所属都道府県 栄養士会	石川県 栄養士会	会員 番号	0 2 6 0 1 2 7 1	所属職種	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 昭和56年3月～昭和62年3月 大塚製薬㈱ 徳島研究所 研究員 昭和56年4月～平成9年3月 徳島大学 医学部 助手 平成 9年4月～平成19年3月 京都府立大学 人間環境学部 助教授 平成19年4月～平成20年3月 京都府立大学 人間環境学部 教授 平成20年4月～平成29年3月 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 平成29年4月～現在 金沢学院大学 人間健康学部 教授 【業績】 平成元年～現在 日本栄養士会 会員 平成 5年3月～平成9年3月 徳島県栄養士会 理事 平成 7年4月～平成9年3月 徳島県栄養士会 副会長 平成18年5月～平成20年5月 徳島県栄養士会 監事 平成20年5月～平成24年5月 徳島県栄養士会 理事 平成20年6月～現在 (公社)日本栄養士会 理事			すべての栄養士会会員が将来の夢や思いを熟く議論できる日本栄養士会でありつづけるために、 (1) 学術・研究 科学的根拠に基づく栄養に係る研究ならびにその支援に努めたい。 (2) 職業倫理 専門職としての業務、卒前・卒後教育、栄養士制度とも関連し、総合的な対応に努めたい。 (3) 管理栄養士・栄養士の資質向上 養成施設におけるコアカリキュラムの整備、管理栄養士・栄養士の生涯教育等に努めたい。 (4) 栄養ケア・ステーション 栄養ケア・ステーション事業の構築、円滑な運営体制の整備に努めたい。 (5) 国際公衆栄養 国境の垣根を越えて、公衆衛生の向上にかかる諸事業の実施に努めたい。			
	立候補の抱負						
◎ 一般 理事 選任 決議 分 野 候補 者		届出番号	※ 11	ふりがな 氏 名	なかむら ていじ 中村 丁次	性 別	男・女
		勤務先	名称 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 横須賀市平成町1-10-1 Tel 046-828-2503				
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 7 5 1	所属職種	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 昭和47年 徳島大学医学部栄養学科卒 新宿医院 昭和50年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 昭和62年 聖マリアンナ医科大学横浜西西部病院 平成11年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 平成15年 神奈川県立保健福祉大学保健福祉部栄養学科 【業績】 卒業後、栄養の教育、研究、実践に、一貫して取り組んできた。病院栄養士として、病院給食の改善、栄養相談室の設置、管理栄養士の臨床領域への進出と発展には尽力を尽くした。特に、2000年の法改正においては、検討会の委員として、自己の体験を生かして、21世紀における管理栄養士の具体的な姿を提言し、栄養アセスメントや栄養管理の意義や具体的方法を示し、その普及に努めた。 2008年横浜で開催された「国際栄養士会議ICD」では、組織委員長として会の運営にあたった。会議の規模、質ともに優れた国際会議だと国内外から高い評価を受、翌年観光庁より表彰された。厚生省「日本人の長寿を支える「健康な食事」の在り方を考える検討会」で座長を務めた。 2003年以降は、神奈川県立医科大学の教員になり、経験した実践活動を基盤に、管理栄養士養成や栄養学研究の在り方を議論している。大学が、4つの職種を養成する保健医療福祉系大学であったことから、我が国では初めて本格的な多職種連携教育を基盤にした教育、研究を推進した。このことは、高齢化対策として進められている地域連携、保健医療福祉の包括化に対応することであり、これからの管理栄養士養成の一つの方向性を示した。また、アジア地域における栄養政策や栄養士養成にも貢献した。 【会員・役員歴】 1977年 日本栄養士会会員入会 2004～2012年 日本栄養士会会長			栄養は、現代社会が抱える貧困、農業、環境、健康、経済、教育等に内在する課題を解決する最も重要なキーワードである。我が国における中高年の生活習慣病、さらに高齢者、傷病者、若年女子や小児の低栄養は、保健、医療、福祉の基本的かつ重要な課題である。一般的に、栄養問題が重要で深刻になればなるほど、その専門職の関心度は高まり、社会的地位は向上するが、現在の我が国の状況は必ずしも、そのようになっていない。種々の場面で栄養の舞台が用意されるが、管理栄養士・栄養士が主役を演じられないことほど情けないことはない。いつまでも素人芝居を見せられるのは、国民にとっても不幸である。栄養の情報や制度が混乱することを見逃すわけにはいかない。 現在、我が国の保健医療福祉政策は、大きな転換期を迎えている。少子高齢社会がますます深刻になり、現在のような医療制度や介護制度がそのまま維持できるか、疑問である。解決策として、制度や施設・設備を改善し、人工知能等の最先端技術の導入も必要である。しかし、最も重要なことは、どのような変化が来ても、それに立ち向かうことができる強固な人材の養成である。学会や協会から、栄養関連の数多くの資格が出されているが、本当に我々の力は増強したのか、人々を健康にできたのか。日本栄養士会は、我が国最大の栄養専門職集団として、真剣に考え、社会に提言しなければならない。誰も助けてはくれない。我々自身が動かない限り問題は解決しないのである。栄養学は、医学、農学、家政学の一部を連携、融合させ、生命を司る根源となる学問として誕生し、長い年月をかけて体系化してきた。栄養という言葉が認められて、今年は、丁度100年目を迎える。先人の努力により、一世紀かかり、ようやく人々が日常的に栄養と言うようになり、学問としても認められた。しかし、その専門職としては、もう一歩足らないところがある。そのために、もうひと汗かく覚悟で立候補を決意した。			
	立候補の抱負						

告示第3号

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 12	ふりがな	いしかわ ゆういち	性別	男・女	
		氏名	石川 祐一					
		勤務先	名称 茨城キリスト教大学生生活科学部食物健康科学科 〒 319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL 0294-53-9078					
		所属都道府県 栄養士会	茨城県 栄養士会	会員 番号	0 0 8 7 0 3 0 9	所属職域	医療	
職 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和62年4月～平成元年10月 藤井病院 平成元年11月～平成 3年 3月 日立木材地所株式会社(現日京クリエイト) 平成18年10月～ 株式会社日立製作所日立総合病院栄養科科长 平成30年4月～ 茨城キリスト教大学生生活科学部 食物健康科学科准教授 【会員・役員歴】 昭和60年～ 平成15年～23年 日本栄養士会会員 茨城県栄養士会栄養士会理事 茨城県栄養士会 病院栄養士協議会会長 平成19年～23年 茨城県栄養士会副会長 平成20年～22年 全国病院栄養士協議会常任幹事 平成22年～ (社)日本栄養士会理事(現公社) 全国病院栄養士協議会協議会長 (現医療事業部企画運営委員長) (公社)日本栄養士会常任理事 平成28年～						
		・これまでの4期8年における職域代表理事の実績を生かし、一般理事としてさらに幅広い視点で栄養士会の活性化に向け尽力したい。 ・国が推進する“地域包括ケアシステム”に医療、介護、行政等の栄養士が積極的に参画し、栄養士の“見える化”の推進“栄養をつなぐ”体制づくりに貢献したい。 ・栄養士の存在価値を高めるにはエビデンスの構築は喫緊の課題である。これらの課題解決に向けた取り組み強化を推進したい。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 13	ふりがな	わたなべけいこ	性別	女	
		氏名	渡辺 啓子					
		勤務先	名称 公立学校共済組合 九州中央病院 〒 815-8588 福岡県福岡市南区塩原3丁目23-1 TEL092-541-4936					
		所属都道府県 栄養士会	福岡県 栄養士会	会員 番号	0 4 0 1 1 5 1 1	所属職域	医療	
職 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		1978年 4月 公立学校共済組合九州中央病院入職 ～現在 に至る 【業績】 平成22年9月 福岡県知事感謝状 平成27年9月 厚生労働大臣表彰(栄養改善) 【会員・役員歴】 昭和53年5月 日本栄養士会・福岡県栄養士会入会 平成12年4月～現在 福岡県栄養士会理事 平成14年～22年 全国病院栄養士協議会九州地区幹事 平成22年～現在 日本栄養士会医療事業部企画運営委員副委員長						
		管理栄養士・栄養士の医療職種としての確立と専門性の追求、社会的地位の向上をめざし、会員のスキルアップ、資質の担保を担うべく、日本栄養士会の組織拡充と活性化に貢献したい。 管理栄養士・栄養士の専門性を確立するための生涯教育制度の推進、地域包括ケア推進における栄養管理の重要性を社会に示すための会員の資質向上を目標とした取り組みを充実するために理事としての役割を果たしたい。						

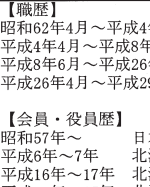
◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 14	ふりがな	てらもと ふさこ	性別	男 ・ 女	
		氏名	寺本 房子					
		勤務先	名称 川崎医療福祉大学 〒 701-0193 岡山県倉敷市松島 2 8 8 TEL 086-462 -1111					
		所属都道府県 栄養士会	岡山県 栄養士会	会員 番号	3 3 0 0 3 9 8	所属職域	研究教育	
職歴 ・ 業績 ・ 会員・役員歴		【職歴】 昭和49年 川崎医科大学附属病院栄養部 管理栄養士 昭和58年 川崎医療短期大学（栄養科）講師 平成3年 川崎医療福祉大学助教授 平成7年 川崎医科大学附属病院栄養部 課長補佐（201年まで） 平成15年 川崎医療福祉大学・大学院教授（現在に至る） 【業績】 日本栄養改善学会評議員・理事，日本臨床栄養学会評議員，日本病態栄養学会評議員，日本静脈経腸栄養学会評議員・理事を務める。昭和63年日本栄養改善学会奨励賞，平成19年厚生労働大臣表彰 【会員・役員歴】 昭和49年～ 日本栄養士会会員 平成20年～22年 岡山県栄養士会研究教育協議会監事 平成20年～22年 岡山県栄養士会栄養ケアステーション委員 平成21年～ 日本栄養士会専門管理栄養士制度検討委員 平成22年7月～日本栄養士会理事 平成24年7月～日本栄養士会常任理事（人材育成部長）			健康増進、疾病の予防・治療、低栄養改善など栄養管理の重要性がますます高まるなか、超高齢化社会にある現在、地域包括ケアでの多職種連携では栄養の重要性が注目され、より質の高い栄養管理が求められている。これら社会に求められている能力を持つ管理栄養士・栄養士の育成と認定制度を組み入れた生涯教育制度の整備に努力した。あらゆる分野で栄養の専門職として人々に寄り添うことのできる管理栄養士・栄養士のあり方について検討し、管理栄養士・栄養士の資質の向上と質の担保ならびにひろく国民へ向けてその存在を示すことができるよう貢献したい。			
		立候補の抱負			1. 認定管理栄養士、認定栄養士制度の普及と広報、さらなる整備にむけ努力する。 2. 専門管理栄養士制度の定着に向け努力する。 3. 研究・教育センター（仮称）の整備に向け努力する。			

◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 15	ふりがな	にしむら かずひろ	性別	男 ・ 女	
		氏名	西村 一弘					
		勤務先	名称 駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 〒 206-8511東京都稲城市坂浜238番地 TEL042-350-7233					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0 1 3 0 3 9 5 4	所属職域	医療	
職歴 ・ 業績 ・ 会員・役員歴		【職歴】 昭和57年3月社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 平成 8年4月老人保健施設グリーン・ボイス主任兼務 平成15年9月東京家政学院大学非常勤講師兼務 平成16年4月社会福祉法人緑風会健康推進部主任兼務 平成27年4月駒沢女子大学人間健康学部入職 【業績】 平成17年6月NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 平成18年5月東京都栄養士会永年会員表彰 平成20年11月東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 平成27年10月東京都知事賞表彰 【会員・役員歴】 会員歴 平成8年～平成30年日本栄養士会、東京都栄養士会 役員歴（東京都栄養士会） 平成17年～平成30年 医療部会役員 平成 24年～平成28年 医療事業部企画運営委員長 平成 24年～平成30年 理事 平成26年 ～平成30年 会長 役員歴（日本栄養士会） 平成18年～平成20年 全国病院栄養士協議会幹事 平成20年～平成24年 全国病院栄養士協議会常任幹事 平成24年～平成28年 医療事業部企画運営副委員長 平成20年～平成30年 理事			これまで10年間公益社団法人日本栄養士会の理事として、京浜地区の担当理事や栄養ケアステーション事業部にて副部長として様々なことに、関わらせていただきました。特に東日本大震災の際には、宮城県気仙沼市の支援活動等には複数回参加して現地での介入や栄養ケア・ステーションの設置をしました。更に本務の合間に時間をつくり、派遣ボランティアの調整や物資の調達等も行いました。その後、JDA-DAT研修会の運営等にも関わらせていただきました。2年前の九州地区での震災では、栄養剤の調達等後方支援をさせていただきました。この2年間は地域栄養ケアステーションの認定にも関わらせていただき、微力ながら東京都栄養士会会長の立場としても、推進に協力をしてきました。今期も理事として皆様のために働かせていただきたいと思いますので、是非ともよろしくお願いいたします。			
		立候補の抱負						

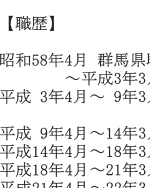
告示第3号

◎ 一般理事 選任決議分野候補者		届出番号	※ 16	ふりがな	たなか やよい	性別	男・ ☒ 女	
		氏名	田中 弥生					
		勤務先	名称 関東学院大学 栄養学部 管理栄養学科 〒 236-8503 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL045-786-7058(直)					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員番号	1 4 0 1 3 2 6 6	所属職種	研究教育	
職歴・業績・会員・役員歴		【職歴】		健康寿命の延伸のため、重症化予防、介護予防といった予防の政策が始まっています。また地域包括ケアにおける地域連携が進み、栄養ケア・ステーション等、顔の見える栄養士・管理栄養士の配置による栄養の指導が早急に求められております。 そのためには、職能団体として一人ひとりが一丸となりプロ意識が高い力のある栄養士・管理栄養士としての資質の向上が必要です。 その結果、国民に対し「栄養の専門家」として多くの知識や技術を提供し、その成果が我々の社会的地位や身分の確立に繋がると考えます。 日本栄養士会のビジョンを全うするために「社会貢献」「益増大」「会の成長」を目的として引き続き積極的に努めてまいります。 1. 地域包括ケアにおける在宅栄養専門管理栄養士及び在宅訪問管理栄養士を育成し、地域栄養ケアの体制整備と有用性の検証を行います。 2. 栄養ケア・ステーションの機能充実を図ります。特に認定栄養ケア・ステーションの拡大、推進し、有用性の検証を行います。 3. 地域の職域や他職種との情報提供に必要なツールを利用した地域連携の整備に取り組みます。				
		【業績】						
		【会員・役員歴】						
		昭和56年～平成20年 南大和病院 栄養科 立候補の抱負 平成3年～平成20年 同上 栄養科長 平成11年～平成15年 関東学院女子短期大学 非常勤講師 平成16年～平成30年 関東学院大学 非常勤講師 平成20年～平成22年 駒沢女子短期大学 准教授 平成20年～現在 南大和病院栄養科 顧問 平成22年～平成26年 駒沢女子大学 准教授 平成26年～平成30年 駒沢女子大学 教授 平成30年4月～ 関東学院大学 教授						
【業績】 平成8年～平成20年まで全国在宅訪問栄養食事指導研究会(現 日本在宅栄養管理学会)の会長として、管理栄養士の在宅医療・介護を推進し、会を円滑に運営した。		【会員・役員歴】 昭和56年～現在 日本栄養士会 会員 昭和61年～昭和63年 神奈川県栄養士会 幹事 病院栄養士協議会 幹事 平成16年～平成20年 日本栄養士会 幹事 全国病院栄養士協議会 幹事 平成24年～平成26年 日本栄養士会 理事 平成26年～現在 日本栄養士会 常任理事 栄養ケア・ステーション部長						

◎ 一般理事 選任決議分野候補者		届出番号	※ 17	ふりがな	とがわ いずみ	性別	男・ ☒ 女	
		氏名	外川 泉					
		勤務先	名称 富士吉田市学校給食センター 〒 403-0002 山梨県富士吉田市小見見3丁目6-1 TEL 0555-22-4466					
		所属都道府県 栄養士会	山梨県 栄養士会	会員番号	0 1 9 0 0 3 5 6	所属職種	公衆衛生	
職歴・業績・会員・役員歴		【職歴】		歳しさを増す行財政状況、人口減少と少子高齢化の同時進行など社会情勢は、今までになく難しい局面を迎えています。このような中、健康・食文化・生産など食に関する課題が山積み、解決の糸口が見えにくい状況にあります。 そこで、私たち栄養士、管理栄養士、さらには栄養士会に求められているものを見極め、効率的に対処していく必要があります。私は、これまでの経験を生かし、栄養士会に寄与することとして、次の2点について述べたいと思います。 まず一つ目は、社会問題として、在宅高齢者の低栄養、生活習慣病罹患者の不適切な食事内容、及び摂食・嚥下障害などが挙げられます。管理栄養士が、在宅医療へ積極的にに関わり、在宅医療チームの一員としてその責務を果たすことで、多くの効果が期待されます。適切な栄養指導について検証を重ね、会としてその方法を確立すべきと考えます。 さらに、市町村における高齢者の多職種協働による個別ケースの支援を行う「地域ケア会議」への参画についても積極的に働きかけをしていくことが重要です。これらを全国規模で実施することにより、医療費の削減、健康寿命の延伸など大きな効果が現れると考えます。 次に、常に自助、共助、公助を意識し、自助、共助が育まれる公助を展開することです。限られた財源やマンパワーでより効果を発揮し、しっかりした体制で継続していくためには、共助の強化は欠かせません。今後、栄養士会自体も共助のひとつとして、その役割を発揮することが求められると考えます。 大きな危機に直面していますが、私達が志を持ち仲間と力を合わせることで、必ず糸口が見えてくると考えます。微力ではありますが、問題の解決に向け真摯に取り組む所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。				
		【業績】						
		【会員・役員歴】						
		平成4年度～平成20年度 富士吉田市役所健康長寿課 平成21年度～平成25年度 富士吉田市学校給食センター 平成26年度～平成28年度 富士吉田市役所健康長寿課 平成29年度～現在 富士吉田市学校給食センター						
【業績】 乳幼児や成人を対象とした食生活指導により、市民の肥満の解消や生活習慣病の予防につなげた。組織の養成や育成、活動の展開に力を注ぎ、市内外で食生活改善推進員の活躍につなげた。また、市食育ネットワークを立ち上げ、10年以上にわたり市民主体の食育活動の展開を図っている。 市町村栄養士として、対象に一番身近で、直接働きかけができる利点を生かし、対象に体感を通じた学びを提供し、望ましい食習慣につなげた。特に、塩分味覚域判定の検査や24時間蓄尿による塩分摂取量の把握等の働きかけは、対象を長期にわたり好ましい食習慣へと変化させることに貢献した。		【会員・役員歴】 会員 平成4年7月から現在 役員歴 平成12年6月～平成14年5月 山梨県市町村栄養士会会長 平成30年～現在 山梨県栄養士会 富士・東部支部長						

◎ 一般 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 18	ふりがな	なかがわ ゆきえ	性別	男 ・ 女	
		氏 名	中川 幸恵					
		勤 務 先	名称 藤女子大学人間生活学科食物栄養学科 〒 0 6 1 - 3 2 0 4 石狩市花川南 4 条 5 丁目 TEL 0133-74-7104					
		所属都道府県 栄養士会	北海道 栄養士会	会員 番号	0 0 1 0 7 2 7 5	所属職域	医療	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和62年4月～平成4年3月 札幌トロイカ病院 平成4年4月～平成8年 5月 札幌鉄道病院 平成8年6月～平成26年3月 札幌社会保険総合病院 平成26年4月～平成29年3月 JCHO北辰病院 【会員・役員歴】 昭和57年～ 日本栄養士会会員 平成6年～7年 北海道栄養士会栄養士会役員 平成16年～17年 北海道病栄協副会長 平成18年～27年 北海道病栄協会長 北海道栄養士 会理事 平成18年～19年 全国病院栄養士協議会幹事 平成20年～現在 全国病院栄養士協議会常任幹事 (公益社団法人日本栄養士会医療事業部常任幹事) 平成28年～現在 (公社)日本栄養士会理事						
		・これまでの5期10年における職域運営委員 の実績を生かし、理事としてさらに幅広い 視点で栄養士会の活性化に向け尽力し たい(医療から地域、医療から教育へのつな ぎをしたい)。 ・栄養士の存在価値を高めるにはエビデン スの構築は喫緊の課題である。これらの課 題解決に向けた取り組み強化を推進したい。						
		立候補の抱負						

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	あべ きぬこ	性別	男 ・ 女	
		氏 名	阿部 絹子					
		勤 務 先	名称 群馬県健康福祉部保健予防課 〒 3 7 1 - 8 5 7 0 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号 TEL 027-226-2427					
		所属都道府県 栄養士会	群馬県 栄養士会	会員 番号	0 1 0 0 0 7 4 5	所属職域	公衆衛生	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和58年4月 群馬県職員(入庁) ～平成3年3月 沼田保健所・中之条保健所 平成 3年4月～ 9年3月 衛生環境部 保健予防課・健康長寿課 平成 9年4月～14年3月 利根保健所・渋川保健所 平成14年4月～18年3月 教育委員会保健体育課 平成18年4月～21年3月 渋川保健福祉事務所 平成21年4月～22年3月 食品安全局衛生食品課 平成22年4月～26年3月 食品安全局食品安全課 平成26年4月～現在 健康福祉部保健予防課 【会員・役員歴】 昭和58年4月～現在 日本栄養士会会員 平成10年4月～12年3月 群馬県行政栄養士協議会幹事 平成20年4月～22年3月 同 副会長 群馬県栄養士会渋川支部 支部長 平成20年4月～現在 群馬県栄養士会理事 (学術部長) 平成28年4月～30年3月 群馬県栄養士会公衆衛生事業 部 部長 平成22年6月～24年8月 日本栄養士会行政協議会幹事 平成24年8月～26年6月 日本栄養士会公衆衛生事業部 企画運営委員 平成26年6月～現在 同 企画運営委員長 日本栄養士会職域理事 (公衆衛生担当理事)						
		公衆衛生の職域担当理事及び公衆衛生事業部の企 画運営委員長として、(公社)日本栄養士会が目指 す、管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向け、 公衆衛生事業部に所属する行政栄養士が専門職とし て、その能力を発揮できるよう、会員相互の連携を 図り、有益な施策を共有する体制を確立するため、 各種事業の企画・運営。実施に尽力してきました。 健康日本21(第二次)の目標である健康寿命の 延伸と健康格差の縮小のため、各自治体の保健・医 療・福祉等の目指す姿の実現に貢献できるよう、 「会員の資質の向上・人材の育成」「行政栄養士業 務の確立と推進」を図るため、「人材育成ガイド」 (平成28年3月公衆衛生事業部作成)の考え方に 基づき、生涯教育制度への参加を促し、公衆栄養分 野の認定管理栄養士を増やすための方策に取り組ん でいきます。 また、超高齢社会となる2025年(平成37 年)に向け、地域包括ケアシステムにおける在宅医 療・介護に関しては、低栄養等の栄養課題に対応が 重要であることから、地域の現状を把握し、県、保 健所設置市、特別区、市町村が役割分担を明確に し、連携と協働により、地域で高齢者への包括的な 栄養・食生活支援を提供できる推進体制の構築を目 指し、公衆衛生の職域担当理事として尽力していき ます。						
		立候補の抱負						

告示第3号

◎職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	さいとう としこ	性別	女
		氏名	斎藤 トシ子				
		勤務先	名称 新潟医療福祉大学 〒 950-3198 新潟市北区島見町1398 TEL025-257-4418				
		所属都道府県 栄養士会	新潟県 栄養士会	会員番号	0 1 5 0 3 0 2 3	所属職域	研究教育
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 ・桜の聖母短期大学家政学科副手 (S51-H4) ・仙台市健康増進センター健康増進課 (H4-12) ・新潟医療福祉大学設立準備財団専門委員会委員 (H12-13) ・新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科助教授を経て教授 (H13-現在に至る) 【業績】 ・日本栄養士会雑誌論文委員会委員 (H22-23) ・東日本大震災災害支援活動実施 ・臨地・郊外実習マニュアル (2014年版) 改定検討ワーキング委員 ・新卒会員増対策の検討・実施 【会員・役員歴】 ・新潟県栄養士会理事 (H18-22) ・新潟県栄養士会常任理事・副会長 (H22-26) ・全国研究教育協議会幹事 (H20-24) ・全国研究教育事業部企画運営委員 (H24-26) 全国研究教育事業部企画運営委員長 (H26-29) ・日本栄養士会理事 (H26-29)		平成26年、職域事業部の理事に就任して以降、社会に求められる管理栄養士・栄養士を養成するためには？をテーマに全国研修やリーダー研修を企画するとともに、日本栄養士会の事業運営に携わってまいりました。研究教育事業部は「管理栄養士・栄養士養成システムの充実と科学的根拠の蓄積を業とし、その実践活動を通して、社会へ食と健康の専門職としての責務を果たす」というビジョンの下、研究力・教育力向上に向けた事業の強化、会員増対策、養成校間のネットワーク構築などにも努めてまいりました。しかしながら、養成校間同士による、管理栄養士・栄養士養成の方向性についての議論はまだ十分になされているとは言えず、入会会員数も伸び悩んでいることから、引き続き、職域代表理事として尽力したいと考えています。管理栄養士と栄養士、それぞれの価値を絞り込み、社会および多職種から、本職種は絶対に必要であるというニーズを高めていただけるよう、養成のあり方および管理栄養士・栄養士の大きな使命でもある科学的エビデンスの蓄積について、議論し活動を展開していきたいと考えております。				
	立候補の抱負						

◎職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	はら じゅんや	性別	男・女
		氏名	原純也				
		勤務先	名称 武蔵野赤十字病院 栄養課 〒 180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 TEL0422-32-3111				
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	0 1 3 0 2 8 3 3	所属職域	医療事業部
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】平成4年～平成9年国内フードサービス (株) 平成9年～平成11年多摩丘陵病院 平成11年～平成13年国内フードサービス 平成13年～平成24年多摩丘陵病院 平成24年～武蔵野赤十字病院 【業績】10年永年表彰 【会員・役員歴】 平成19年入会 平成20年～東京都栄養士会医療部会 役員 平成22年～24年 東京都栄養士会 幹事 医療部会事業部長 平成24年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 平成26年東京都栄養士会 理事 平成28年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長 東京都栄養士会 理事 事業部長 平成30年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長		平成24年度から日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員を2期務めて、28年度より副委員長で仕事をさせていただきました。30年から委員長となり、さらに責任ある立場で仕事をさせていただくことになりました。これからは医療事業部選出の理事の立場として医療事業部所属の会員の声を多く聞き、これを反映した運営ができるよう頑張る所存です。また、これからの時代を担う中堅若手の育成・会員の増加と地域包括ケア推進のため、職域横断的な連携を推進すべく努力し一生懸命仕事をさせていただきます。				
	立候補の抱負						

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな 氏 名	かとう すみこ 加藤 すみ子	性別	男 ・ 女	
		勤務先	名称 社会福祉法人いわき福音協会 つばさA型 〒 970-8026 福島県いわき市平字新川町36-1 TEL 0246-38-3312					
		所属都道府県 栄養士会	福島県 栄養士会	会員番号	0 0 7 0 1 5 2 6	所属職域	福祉	
		職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和63年～平成5年 (医) 石井脳神経外科・眼科病院 平成13年～20年 (医) 介護老人保健施設 サンライフゆもと 平成20年～27年 (社) いわき福音協会 福島整肢療護園 平成27年～28年 (社) いわき福音協会 障害者支援施設はまなす荘 平成28年～ (社) いわき福音協会 つばさA型 【業績】 特になし 【会員・役員歴】 昭和63年～平成5年 入会 平成13年～ 再入会 平成24年～26年 (公社) 福島県栄養士会福祉協議会会長 平成26年～28年 (公社) 福島県栄養士会常務理事 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員 平成28年～30年 (公社) 福島県栄養士会副会長 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員 平成29年～30年 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員長代理					

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな 氏 名	なかだ ともこ 中田 智子	性別	男 ・ 女	
		勤務先	名称 栃木市教育委員会 〒 328-8686 栃木県栃木市万町9-25 TEL 0282-21-2690					
		所属都道府県 栄養士会	栃木県 栄養士会	会員番号	0 0 9 0 0 4 6 9	所属職域	学校健康教育	
		職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和62年4月 栃木市立栃木東中学校 学校栄養士 平成 7年4月 栃木市立大宮北小学校 学校栄養士 (平成11年4月から主任) 平成15年4月 都賀町立都賀中学校 主任 (平成21年4月から栄養教諭) 平成25年4月 栃木市教育委員会 副主幹兼指導主事 (平成30年4月から課長補佐兼指導主事) 【業績】 ・文部科学省委託事業を都賀町で3年間受託 ・「地産地消の仕事人」に選定 (農林水産大臣) ・学校給食における食物アレルギー対応指針作成委員 (文部科学省) ・第57回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第4分科会 指導助言者 (主催 文部科学省等) ・第58回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 第8分科会 指導助言者 (主催 文部科学省等) ・平成21年 とちぎ教育賞 (栃木県教育委員会) ・平成23年 優秀教員表彰 (文部科学大臣) 【会員・役員歴】 ・栃木県栄養士会学校健康教育協議会会長 (平成20年4月～平成22年 3月) ・日本栄養士会学校健康教育事業部企画運営委員 (平成26年4月～現在) ・日本栄養士会特定分野食物アレルギー管理栄養士・栄養士 認定制度副委員長 (平成30年4月～現在)					

告示第3号

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	えびはら まさこ	性別	男・ ☒ 女	
		氏名	海老原 昌子					
		勤務先	名称 千葉県厚生農業協同組合連合会 〒 260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉3丁目2番地6号 TEL 043-245-7443					
		所属都道府県 栄養士会	千葉県 栄養士会	会員番号	0 1 2 5 0 2 3 5	所属職域	地域活動	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和51年～昭和57年 千葉県船橋市学校栄養職員 平成 4年～平成15年 丸善海苔加工販売株式会社 平成15年4月～現在 千葉県厚生農業協同組合連合会 【業績】 平成6年 千葉県栄養士会会長表彰 平成28年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 会員歴 平成3年～ 役員歴 ・千葉県栄養士会 平成14年～平成17年（委員） 平成24～29年（理事） 日本栄養士会 平成18年～25年 地域活動事業部 企画運営委員 平成26年～27年 地域活動事業部（企画運営委員副委員長） 平成28年～29年 地域活動事業部理事		平成28年より地域活動事業部の理事として本職域の事業運営に関わらせて頂きました。常に会員の皆さまのことを考えながらの2年間でした。本事業部は多くのフリーランスの管理栄養士・栄養士が所属しています。一人ひとりの働き方が違う私達ですが、地域の中に溶け込み国民が一番近いところで活動していると感じています。その働き方を国民・栄養士会員の皆さまに、より理解していただけるよう、今回立候補をいたしました。今後、以下について継続的に取り組み、会員の皆さまが更に自由闊達に活動できるような環境を整えていきたいと思います。 ○会員の抱えている問題を拾い上げられるように情報伝達や意見交換の方法論の構築 ○会員が日本栄養士会の活動に積極的に参加頂けるような環境の整備 ○会員が参加したいと感じられる研修会の企画 また、理事の一員として、栄養士会の円滑な運営の一助となれるよう努力して参ります。					

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな	こくぶ はこ	性別	男・ ☒ 女	
		氏名	國分葉子					
		勤務先	名称 エームサービス株式会社 〒 107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー20F TEL03-6234-7532					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員番号	0 1 3 0 2 3 8 9	所属職域	勤労者支援	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 S 5 7 年大学卒業後 食」に関する数社の会社勤務を経て H 8 ～ 1 6 年 シダックスフードサービス株式会社入社 H 1 7 年～ エームサービス株式会社入社 現在に至る 【業績】 【会員・役員歴】 東京都栄養士会 職域運営委員 平成14～24年 理事 平成20～24年 広報部長 平成20～21年 事業部長 平成22～24年 職域部長 平成22～24年 日本栄養士会 職域運営委員 平成18～30年 理事 平成26～30年 （人材育成部、地域連携部 担当） 職域運営委員長 平成26～30年 （日栄・都栄ともに所属職域：現）勤労者支援事業部		日本で生活する人々を健康にする社会に貢献する事を目的とし、健康日本21（第二次）の目標達成のために、その活動内容を ①特定保健指導 ②スポーツ栄養 ③食環境整備 ④健康経営の4つに整理 それぞれの社会の活動の中で栄養士、管理栄養士の見える化、活動の見える化を図ります。 今期は減少が続いていた当部会の会員数も底をつき微増が増加に転じました。未来に向け、新規会員も含めてこれからの活動を共に活性化するため ○全国リーダー会議の復活 ○前期より継続し、他職域事業部、学術学会、団体との連携強化・開拓推進 ○会員増の強化と共に後継者育成の環境を整備 以上の活動を全国の皆様と共に展開するべく、今まで準備を進めてまいりました。どうぞよろしくお願ひいたします。					